

親子で歴史発見！昔の地図・写真でタイムスリップしよう ～企画概要～

以下、企画の概要を記す。

記

1. 企画名：親子で歴史発見！～昔の地図・写真でタイムスリップしよう～
サブタイトル 謎ときが好きなきみへ送る秋のイベント
2. 実施目的：以下の2項を目的とします。
 - ① 地区の変化、発展の様子を知ること、親子の地元への関心・愛着心を高める。
 - ② 商店街に来街し、歴史資料館等を見ることによって商店街をより深く、身近な存在として感じることができるようにする。
 - ③ 弁天マルシェ（商店街イベント）と連動することにより、商店街の楽しさや、資料館望ん祭を知って頂き、商店街のこれまで以上の活用を促す。
3. 実施方法：以下の活動を行います。
 - ① ウォーキングに先立ち、古地図と現在の地図とを見比べ、地名や建物の位置がどのように変化から地区の変化、発展の様子を知る。
 - ② 古写真も用いながら、実際に地区を歩き、最終的に古写真が撮られた場所で今の位置で撮影することで、変化を体で感じ、地域の成り立ちを理解する。
 - ③ フィールドビンゴのようなゲームを通して、地元地区を、関心を持って眺め、地区と自分との関係をつくる
 - ④ 歴史資料館でワークショップを行い、体験を言葉にすることで、自らの体験の認識を深める。
4. 日時：2015年11月21日（土）11:35～15:10
5. 集合場所：街角資料館（くらしの衣料大沢屋）
6. 活動場所：街角資料館内、弁天通商店街、江川端通商店街周辺街区
7. 対象者：浄心周辺に住む小学生（学年問わない※）とその親***7組
※親が付くため、学年が低くても親からのフォローで歴史を理解してもらうようにする。
***写真撮影を各親子で行う作業があるため、撮影機能がある携帯が必要。

10. 主 催：笑顔届け隊（代表 海野竜矢 愛知学院大学 経済学部 3年）

11. 共 催：弁天通商店街（協力：愛知学院大学 地域連携センター）

12. そ の 他：名古屋市「商店街魅力アップ支援事業」により実施

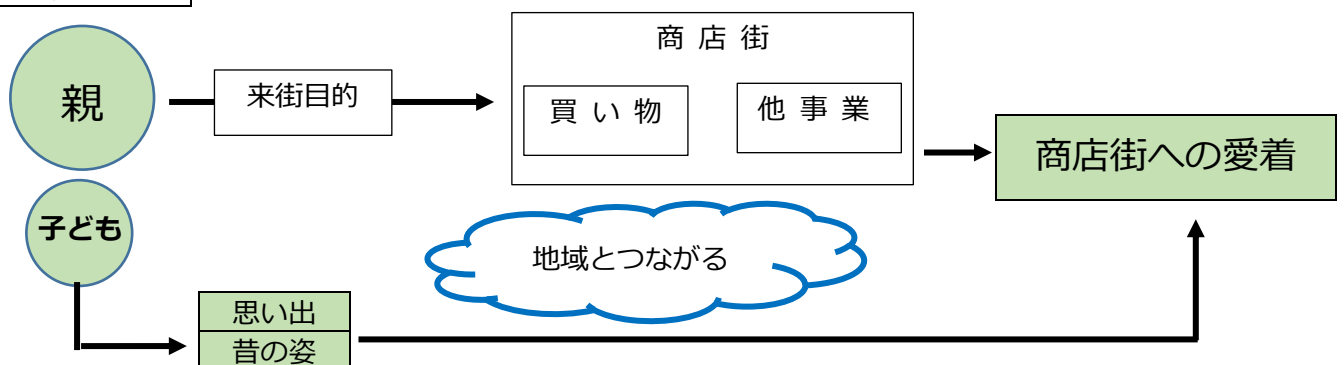
以上

親子で歴史発見！昔の地図・写真でタイムスリップしよう ～詳細資料～

当企画の背景

西区・弁天通商店街にある街角資料館は、歴史的資料がある中で、地元住民への周知が低い状況にあります。そこで、日常的に子供が資料館や商店街に遊びに来る「来街動機」へとつなげ、歴史教育と並行して、商店街活性化の一端を担うことを目指します。

当企画のねらい



当企画における「子ども向け」の目標

この企画を実施するにあたり、「地元を知り、地元を愛する心を育む」ことを目的としており、これを実現を目指すためには、参加者(子供)にわかりやすく目標を伝えなければならない。そこで、参加者に地元の魅力に気づいてもらい、今後の地域活動の可能性を広げるために以下の目標を設定する。

- いろんな”目”で観察してみる。
→鳥になったつもりで遠くから見て、アリになったように近くで見てみる。
- 体全体で街を感じる。
→五感を使おう。
- 自分がそこで何をしているか想像してみる。

使用資料

参加者に昔のまち並みを知ってもらうために、以下の資料を使うこととする。

- ・住宅地図 (S40年度・H26年度)
- ・大日本帝国測量図
- ・名古屋タイムズ
- ・古写真 (神田氏撮影等)
- ・昔の浄心界隈の絵(弁天通商店街 HP)

実施範囲

弁天通商店街をメインに江川端通商店街等も参加者が活動する場所とする。



道具(筆記用具等)の手配

以下の道具は、地図比較時に使用する。

- ・古地図 (1～2 枚)
- ・H26 年度住宅地図 (1 枚)

以下の道具は、写真撮影時に使用する。

- ・古地図 (縮小版) (1 組 1 枚で計 7 枚)
- ・商店街作成マップ(1 組 1 枚で計 7 枚)

以下の道具は、それぞれ各自の撮影課題後に行うワークショップで使用する。

- ・水性マーカー (7～8 本)
- ・付箋
- ・模造紙 (1 枚)
- ・まとめ作業をするための地図(1 枚)

ワークシートについて

当企画の目的を達成するため、参加者の気づきを促すこと必要である。そこで下記ワークシートフィールドビンゴを配布、記入してもらうこととする。これは1日のイベントを通して完成させてもらう。

フィールドビンゴとは、用紙を配りそこにかかっているものを探し、発見したものを記入するものである。

また、まち散策中に写真撮影を行ってもらう。撮影後、親子でお気に入りの写真を一枚選んでもらい、それに関して発表してもらう。

なお商店街から景品（おもちゃ）の提供があります。

フィールドビンゴ

下のじょうけんにあてはるもので、絵またはことばでうめよう！

2015年 月 日(曜日) 天気()

書いた人:()

行ってみたいお店 <small>い 行ってみたい お店</small> <small>みせ</small>	お気に入りの彫刻 <small>お気に入りの彫刻</small> <small>うづく</small>	きれいだと思った むし・はな・はっぱ いずれかひとつをかいてね★
みんなが集まる所 <small>みんなが集まる所</small> <small>ところ</small>	自己紹介 <small>自己紹介</small> <small>じこしょうかい</small> ・すきなばしょ ・これからやってみたいこと	お寺 <small>お寺</small> <small>てら</small>
神社 <small>神社</small> <small>じま じや</small>	面白いと思ったところ <small>面白いと思ったところ</small> <small>おもしろい おも</small>	不思議だと思 うもの <small>不思議だと思</small> <small>あしぎ おも</small>

スタッフの手配・役割分担

講師：浅野順子氏（西区ものづくり文化の道）
昔の地名の解説等を行っていただく予定。

補助：沢井理事長
学生 3～4 名(写真撮影時において、各ポイントなる実施場所に配置)

予算

ワークショップに使用する消耗品費は以下にまとめたものを使用する。なお、予算は名古屋市「商店街魅力アップ支援事業」から支出する。

付箋（ポスト・イット）	75×75mm ブルー 10冊入	@ ¥1,509×1
付箋（ポスト・イット）	75×75mm イエロー 10冊入	@ ¥1,509×1
模造紙	78.8×109.1cm	@ ¥108×1
講師	浅野 順子 (西区ものづくり文化の道)	¥10,000
		計 ¥13,126

(例) 名 札

13:00 資料館にて受付開始

資料館集合・説明

- ・企画の目的と流れの説明をする。

13:10 歴史探検隊結成！

- ・自己紹介の準備
→名札を用意。
名札には「名前(苗字のみ)」と「似顔絵」を記入してもらう。
- ・自己紹介タイム
→名前、住所(町名まで)、今回の参加理由、家の近くにお店・施設を言ってもらおう
(子供のみ)

10分間

- 会場全体に親近感を生み出す目的。

- ・フィールドビンゴの用紙を配布・説明

13:20 新旧地図の比較

- ・グループを二つに分ける。
→下記地図を使うにあたり、拡大版を各グループ 1 枚ずつ渡し、みんなで眺められるようにする。
- ・最初は現在の地図と S 25 年ころの地図を見比べて、自分の家を探してもらう。
- ・過去の弁天通商店街から江川端通商店街周辺を「大日本帝国測量図」、「名古屋タイムズ」、新旧「住宅地図」を用いて、昔あったもの、今はないもの等を説明していく。
- ・説明していく順序としては、
『城西小学校』の成り立ち
↓
『路面電車』があったこと
↓
『地名』から当時城下町であったことやがあったことをイメージしてもらう。
- ・地図は拡大版 1~2 枚を使い、みんなで眺めるようにする。また説明が一方通行にならないように子供たちには場所を指で指してもらいながら。
- ・補足資料として、明治から現在までの出来事を簡潔に時系列にまとめたものを提示する。
- ・さらに古写真や絵を用いて、昔の街のイメージを広げてもらう。

30分間

13:50 商店街散 / 写真撮影の説明

- ・弁天通商店街作成マップ配布。
- ・1組の親子に対して1枚の古写真を提供する。
→浄心駅周辺の様々な昔の写真から、その写された場所を推測してもらう。
→写真はすべて違うため、くじ引きでランダムに写真を提供する。
→古地図(縮小版)と商店街作成マップ(1組1枚で計7枚)を配布し、各自考えてもらう。



30分

- ・フィールドビンゴで記入したものを発表の時間に説明できるように、撮影をしてきてもらう。
- ・商店街内に、4か所ほど大学生を配置する。
→ヒントや緊急時の対応ができるようにするため。
- ・散策後、撮影した写真の内、『お気に入りの1枚』を選んでもらい指定メールアドレスまで送ってもらう。
- ・休憩がてら、商店街にあるお菓子屋さん(3~4店舗)のお菓子を味わってもらう。
→→→来街の動機づけになるよう、お店の紹介をしっかり行う。

14:20

資料館にてワークショップ(歴史発見隊の『お気に入りの1枚』をみよう!)

- ・1グループになる。
- ・「ちいきの資源カード」の配布と説明。
→記入は後ほど時間を取ることにする。
- ・参加者撮影の写真共有~親子で発表~
→プロジェクターにて『お気に入りの1枚』を移す。なお、写真の出力はインターネット等を経由して貸出PCに送る。⇒方法???
→発表のポイントとしては、まちを観察して発見したことやこれから商店街に求めるもの(こうだったらいいな)などを言ってもらおう。なお、発表者は親か子供、どちらでもいいことにする。

30分

14:50

振り返り

- ・「ちいきの資源カード」
友達に紹介するつもりで、〇〇がいっぱいの・楽しい弁天通商店街というように、子供が書きやすい内容にする。またそれをカードに記入してもらい、しばらくの間資料館に展示。
- ・1人1回の発表の時間を設ける。(2分ほど)
- ・最後に親と子供の発表をもとに、各発表者に対して、講師や沢井さんにまちの歴史のポイントを締めくくってもらう。(できれば子供に発表してもらうよう促す)

15:10

アンケート記入・流れ解散

- ・子ども用、親用に分け、運営や気づいたこと、次は何に期待するか等のアンケート用を配布する。→弁天マルシェにも活かす。

アンケートについて

企画終了後に参加者にアンケートに答えてもらいますが、その内容を以下にまとめる。

<親>

- ・性別、年齢
- ・なぜ参加しましたか？
- ・満足度はいかがでしたか？（5段階で）
→その理由を教えてください
- ・難易度はいかがでしたか？（5段階で）
→その理由を教えてください
- ・またこのような「親子で歴史発見！」に参加したいと思いませんか？
はい or いいえ
→その理由を教えてください
- ・弁天通商店街を普段利用されますか？
ほぼ毎日利用する
たまに利用する
滅多に利用しない
初めて利用した
- ・この企画に参加して、弁天通商店街のイメージはどのように変わりましたか？
(複数選択可)
普段行かない街やお店を知ることができ、理解が深まった
もっと商店街を知りたいと思った
商店街を今後も利用してみたいと思った
その他
→その他の場合、ご記入ください。
- ・その他感想を自由にお書きください

<子供>

子供も親のアンケート内容と同様の内容にする。なお子供でも答えやすい内容・表現に改良はする。